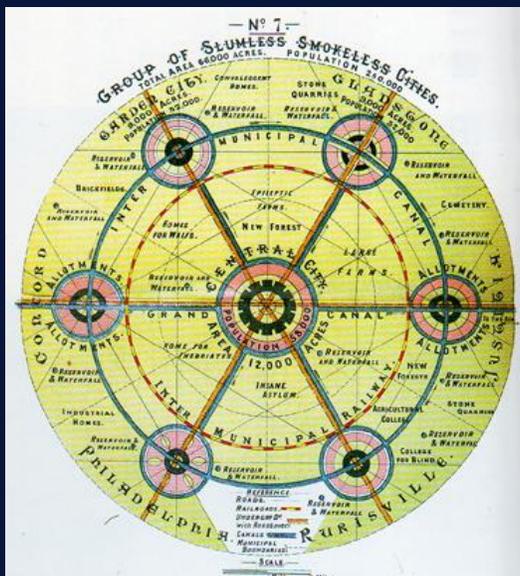


CREATING THE FUTURE OF TOMIYA FROM THE GARDEN CITY CONCEPT

田園都市構想 から発する 富谷未来創造

住みたくなるまち日本一を目指して



風見正三

宮城大学

理事・副学長

PROFILE

学歴

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻 博士後期課程 修了
英国ロンドン大学政治経済大学院 (L.S.E) 都市地域計画学修士課程 修了
英国ロンドン大学理工医学大学院 (Imperial College) 経営学修士コース 修了

学位

博士(工学) 東京工業大学 2007年
理学修士(都市地域計画学) ロンドン大学 1992年
経営学修士 ロンドン大学 1993年

職歴

1984年4月 財団法人日本ダム協会研究部研究員
1987年4月 大成建設(株) 開発本部
2008年4月 宮城大学事業構想学部 教授
2016年4月 宮城大学事業構想学部長 兼 事業構想学研究科長
2019年4月 宮城大学理事兼副学長(研究・地域連携・産学連携担当)
2020年9月 宮城大学理事兼副学長(研究, 学術情報, 地域連携・産学連携, 国際交流担当)
図書館長、最高情報責任者(CIO)
2021年4月 研究推進・地域未来共創センター長(兼務)

主要著書

「『明日の田園都市』への誘い-ハウードの構想に発したその歴史と未来-」(彰国社、2001)
「コミュニティビジネス入門-地域市民の社会的事業-」(学芸出版社、2009)
「都市・地域の持続可能性アセスメント」(学芸出版社、2015)
「新commons論-幸せなコミュニティをつくる八つの実践-」(中央大学出版部、2016)
「森の学校を創る-震災復興から発する教育の未来」(山口北州印刷株式会社、2020)



風見 正三

Shozo Kazami

宮城大学
理事・副学長

研究
学術情報
産学地域連携
国際交流
担当

事業構想学群
事業構想学研究科
教授

図書館長
最高情報責任者(CIO)

研究推進・地域未来共創センター長

専門

都市計画・地域計画・環境デザイン
コミュニティビジネス
持続可能な地域創造学

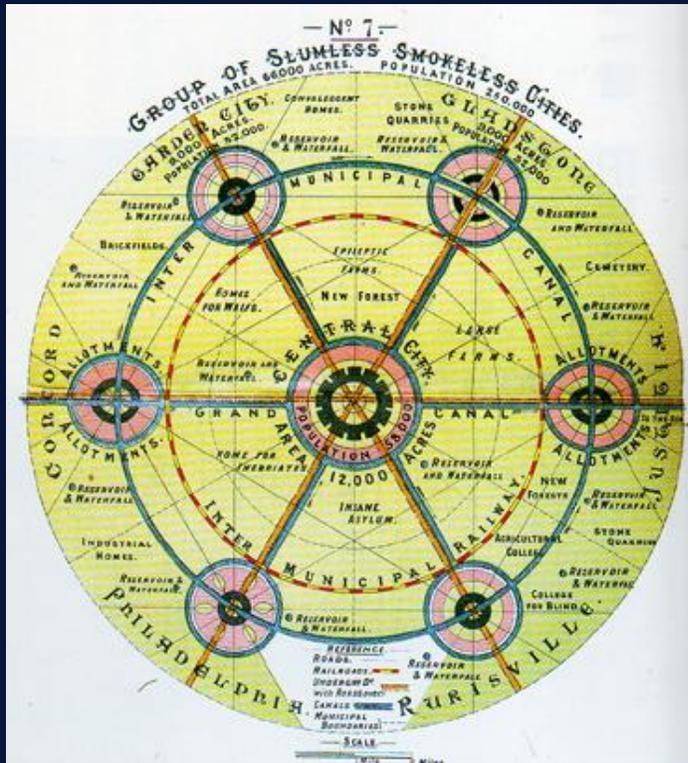


「社会都市 (Sociable Cities) 持続可能な都市モデルの発明

都市と農村の連携による都市成長管理システム

田園都市群の創造による
持続可能な都市モデル

開発利益の還元による
農地の計画的確保

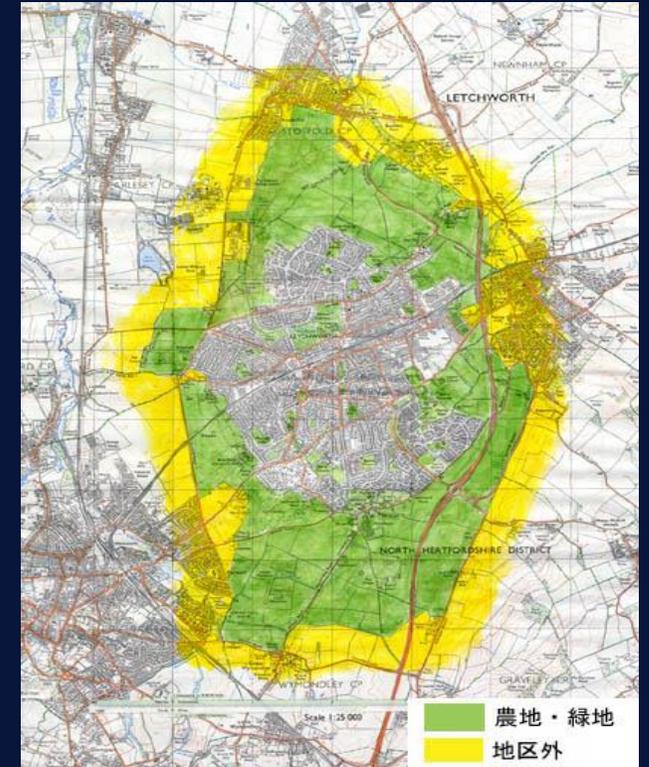


社会都市の思想

都市地域計画の概念の起源

- 都市の規模の制御
- グリーンベルトの思想
- 都市と農村（田園）の融合
- 広域的な都市の成長管理
- 都市と緑地（自然）の融合

E.ハワード
R.アンウィン
T.アダムス
P.アーバークロンビー



Howard, E. : Garden Cities of To-morrow、Books for Business、2001

<http://tochi.mlit.go.jp/tosinouti-katuyou/utokusii/type2/letch/index.htm>



レッチワース (Letchworth)

E.ハワードが提唱した「田園都市」の理念に基づき、ロンドンの北方55km建設された自立した職住近接型の新都市。

田園都市の周囲を豊かな緑地帯（グリーンベルト）が取り囲んでおり、無秩序な拡大（スプロール化）を防ぎ、コミュニティの一体性を保っている。



レッチワースから学ぶ まちづくりの要諦

- 土地を共有し借地権で運用する
- 開発利益はコミュニティーに還元する
- 職住の近接
- エネルギー効率の良いエコノミーな美しい住宅
- グリーンベルトから新鮮な農作物の供給
- 緑豊かなコモンとビレッジグリーン
- 多様な規模の宅地と住宅
- まちづくりのマネジメント組織